

令和6年度 開明中学校・高等学校 学校評価

1 めざす学校像

【建学の精神】

校訓「研精而不倦」（本校では、知・徳・体すべてにわたって自己を磨き続けることと解し、教育活動の実践的な柱としています。）

【教育目標】

- 1 男女共同参画社会において、社会のリーダーとして活躍する人間の育成
- 2 文系・理系を問わず、理数の素養を身につけ、21世紀の情報化社会に対応できる人間の育成
- 3 世界的視野に立ち、国際感覚に富む人間の育成
- 4 思いやりの心を持ち、社会的常識を備えた人間の育成
- 5 正しい生活習慣を身につけた、心身ともに健全な人間の育成

2 中期的目標

1 学習指導・進路指導

- (1) 授業改革
- (2) 学ぶことの「意味」と「楽しさ」の追求
- (3) 指導力の向上

2 生徒指導・人権健康教育

- (1) 授業規律
- (2) 校則遵守
- (3) いじめの防止

3 行事・クラブ活動

- (1) 行事への積極的な参加
- (2) クラブ活動への自由な参加

4 施設・設備

- (1) 新校舎のフル活用

【自己評価アンケートの結果と分析・学校評価委員会からの意見】

自己評価アンケートの結果と分析 [生徒・保護者：令和6年12月実施、教職員：令和7年2月実施]	学校評価委員会からの意見																													
<p>【生徒】</p> <p>○ 肯定的評価が増加した主な項目</p> <ul style="list-style-type: none"> この学校の生徒会活動は盛んである。(中学 肯定率 74.9%。昨年度より 8.0%増。高校 肯定率 62.9%。昨年度より 10.5%増。) 行事は、生徒みんなが楽しく参加できるように行われている。(中学 肯定率 88.9%。前年度より 5.9%増。) この学校の先生は、色々な問題を見逃さずに対応してくれる。(中学 肯定率 85.4%。前年度より 5.2%増。) この学校の生活指導は適切である。(中学 肯定率 76.8%。前年度より 4.2%増。高校 肯定率 69.0%。前年度より 4.4%増。) <p>○ 肯定的評価が減少した主な項目</p> <ul style="list-style-type: none"> 私は、予習や復習をして授業を受けている。(高校 肯定率 58.2%。昨年度より 8.5%減。) 私は、学校の自習室をよく利用している。(中学 肯定率 31.7%。前年度より 7.8%減。) この学校の給食は充実している。(肯定率 58.3%。前年度より 4.5%減。) <p>【保護者】</p> <p>○ 肯定的評価が増加した主な項目</p> <ul style="list-style-type: none"> この学校は、教科の進度や内容の公開など学習の指導方針を適切に保護者に伝えている。(中学 肯定率 87.6%。前年度より 9.3%増。) この学校は、子供の心身の健康について相談できる体制がある。(中学 肯定率 87.3%。昨年度より 9.0%増。) 行事は、子供たちが楽しく参加できるように行われている。(中学 肯定率 95.6%。昨年度より 8.7%増。) この学校の生活指導の方針は適切であり、効果をあげている。(中学 肯定率 83.0%。昨年度より 8.7%増。) <p>○ 肯定的評価が減少した主な項目</p> <ul style="list-style-type: none"> この学校は、生活指導の方針をよく保護者に伝えている。(高校 肯定率 86.7%。昨年度より 6.3%減。) この学校は、生徒に自分の進路や生き方についてよく考えさせている。(高校 肯定率 81.3%。昨年度より 	<p>令和7年5月17日に学校評価委員会を開催。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">肯定評価</th> <th colspan="2">中学</th> <th colspan="2">高校</th> </tr> <tr> <th>生徒</th> <th>保護者</th> <th>生徒</th> <th>保護者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>35項目</td> <td>27項目</td> <td>35項目</td> <td>26項目</td> </tr> <tr> <td>90%以上</td> <td>8項目</td> <td>16項目</td> <td>5項目</td> <td>8項目</td> </tr> <tr> <td>昨年度より増加</td> <td>27項目</td> <td>24項目</td> <td>11項目</td> <td>6項目</td> </tr> <tr> <td>直近5年平均より増加</td> <td>26項目</td> <td>24項目</td> <td>18項目</td> <td>12項目</td> </tr> </tbody> </table> <p>中学は生徒・保護者とも、多くの項目で前年度より肯定評価が増加している。特に、中学保護者は直近5年平均との比較でも、ほとんどの項目で肯定評価が増加している。高校は、生徒・保護者とも、多くの項目で前年度より肯定評価が減少しているが、直近5年平均との比較では、肯定率が増加した項目と減少した項目がほぼ同数である。いずれにせよ、肯定評価が90%以上の項目は少なく、まだまだ肯定評価を得られるような取り組みが求められる。</p> <p>学校生活の充実の項目の肯定評価は、中学・高校とも直近5年平均からは増加し、中学はこの6年間で最高の肯定率となった。</p> <p>「内容の分かりやすい授業が多い」「授業の教え方を工夫している」といった、授業内容の充実に関する項目の肯定評価が増加している。しかし、予習・復習の項目では、中学・高校では肯定率が減少し、特に高校での減少が顕著である。課題の意味を生徒が理解できていない可能性がある。早急な改善が求められる。</p> <p>クラブ活動については、この5年間で中高とも、生徒・保護者とも肯定評価が増加している。実際に、中学生は83%、高校生は71%の生徒がクラブに所属している。「週3日まで」「休日は練習なし」「高2で引退」という先進的なシステムが評価を高めてきたと言える。</p> <p>中学生徒の給食についての肯定率は、一昨年度まで増加していたが、昨年度は前年度より4.5%減となった。家庭科の授業担当者が代わったことで、5年前から継続していた、食品ロス単元で学校給食の意義について授業で取り上げる取り組みがなくなったことが影響していると考えられる。今年度は、この取り組みを復活させると同時に、毎月Classiで生徒に対してアンケートを実施し、その結果をフィードバックする取り組みを行う予定である。</p> <p>前々回からClassiのアンケート機能を活用することで、生徒・保護者とも大幅に回収率を改善できた。今回は中学・高校とも、生徒・保護者とも90%以上を目指したい。</p>	肯定評価	中学		高校		生徒	保護者	生徒	保護者		35項目	27項目	35項目	26項目	90%以上	8項目	16項目	5項目	8項目	昨年度より増加	27項目	24項目	11項目	6項目	直近5年平均より増加	26項目	24項目	18項目	12項目
肯定評価	中学		高校																											
	生徒	保護者	生徒	保護者																										
	35項目	27項目	35項目	26項目																										
90%以上	8項目	16項目	5項目	8項目																										
昨年度より増加	27項目	24項目	11項目	6項目																										
直近5年平均より増加	26項目	24項目	18項目	12項目																										

<p>5.3%減。)</p> <p>【教職員】</p> <p>○ 肯定的評価が増加した主な項目</p> <ul style="list-style-type: none"> 本校では、学校行事の意義を重視し、それぞれの行事を年間教育計画の中に位置付け、生徒が積極的に参加するように指導している。(肯定率92.9%。前年度より13.1%増。) 本校では、問題行動の防止に向け、キャンペーンを張るなど早期指導を心がけている。(肯定率69.0%。前年度より12.1%増。) 本校では、服装や頭髪指導を適切に行い、快適な学習環境と規律ある校風の確立に努めている。(肯定率88.1%。前年度より12.1%増。) <p>○ 肯定的評価が減少した主な項目</p> <ul style="list-style-type: none"> 私は、生徒に学習計画を示し、ほぼそれに沿った進捗で教科指導ができています。(肯定率90.5%。昨年度より4.5%減。) 本校では、教員間で授業を見学したり、授業の内容等について意見交換を行う機会を設けている。(肯定率70.2%。昨年度より4.4%減。) 	<p>教職員については、41項目中28項目で前年度より、31項目で過去5年平均より肯定評価が増加した。</p> <p>進路に関する情報提供の項目、キャリア教育の項目とも、過去5年平均より肯定評価が大幅に増加している。中学2年のインターン体験、中学3年の京都大学見学企画など、将来の進路を考えさせる新たな取り組みが影響したと考えられる。</p> <p>生活指導に関する項目での肯定評価が、過去5年平均より大幅に増加している。特に、差別・いじめ防止の項目の肯定率が年々上昇している。毎年、教職員を対象としたいじめについての研修会を実施しており、いじめに対する正しい認識が教職員の間で広がってきていると考えられる。</p> <p>特別活動に関する項目での肯定評価が、過去5年平均より大幅に増加している。特に、行事に対する指導の項目では、中学体育大会の京セラドーム大阪での実施、夜間歩行での保護者による豚汁炊き出しの復活、林間学校での岩菅山登山の復活など、より良い取り組みを追求してきたことが反映されたと考えられる。</p>
--	--

3 PDCAサイクルに基づく学校の重点目標に対する評価結果

中期的目標	Plan		Do	Check	Action
	重点的に取り組むことが必要な目標	評価指標	取組状況	達成状況	今後の改善方策
1 学習指導・進路指導	(1) 授業改革	ア「私のクラスでは、内容の分かりやすい授業が多い。」の肯定率90%以上(生徒アンケート)	ア「一つの授業に必ず一つは山場を作る」を目標に教材研究を行うよう全教職員に意識付けた。また、予備校の教員研修プログラムにも参加を呼びかけるなど、教員の指導力向上の機会を設けた。	ア 中学 肯定率93.1%で 達成 。昨年度より1.9%増。 高校 肯定率90.5%で 達成 。昨年度より1.8%減。	これまで以上に「一つの授業に必ず一つは山場を作る」を目標に教材研究を行うよう全教職員に意識付けを行う。
	(2) 学ぶことの「意味」と「楽しさ」の追求	イ「私は、予習や復習をして授業を受けている。」の肯定率70%以上(生徒アンケート)	イ 生徒に学習記録を付けさせ、それを保護者・担任がチェックする取り組みを継続的に行った。	イ 中学 肯定率55.8%で 未達成 。昨年度より2.1%減。 高校 肯定率58.2%で 未達成 。昨年度より8.5%減。	生徒の予習や復習が不可欠な授業になっているかどうかの点検を行うと同時に、課題を出す際にはその意図を生徒に理解させるよう意識する。
	(3) 指導力の向上	ア「本校では、教員間で授業を見学したり、授業の内容等について意見交換を行う機会を設けている。」の肯定率80%以上(教職員アンケート)	ア 進路講演会や、高1生対象に卒業生が大学・学部・研究内容を紹介する「開明大学」などのイベントを行った。また、HR・総合の時間などで「キャリア・パスポート」に取り組み、将来の進路や生き方について考えさせた。	ア 中学 肯定率82.1%で 達成 。昨年度より4.3%増。 高校 肯定率79.1%で 達成 。昨年度と変化なし。	これまでの取り組みを継続するとともに、「キャリア・パスポート」の取り組みをさらに充実させる。また、卒業生の経験談を聞く機会をさらに増やす。
2 生徒指導・人権健康教育	(1) 授業規律	ア「私のクラスに来る先生は、私語や居眠りを放置せず、よく注意する。」の肯定率85%以上(生徒アンケート)	ア 年3回、各教科全員参加の研究授業を行ない、その後に教科会議も開いた。	ア 肯定率70.2%で 未達成 。昨年度より4.4%減。	研究授業に対して批判的な内容の意見が出しにくい会議の雰囲気があるため、議論が活発に行えるような工夫を検討する。
	(2) 校則遵守	ア「私は、校則を守っている。」の肯定率90%以上(生徒アンケート)	ア 授業規律についての基本的な考え方を学年主任・副主任に確認し、指導の統一性を図った。	ア 中学 肯定率88.9%で 達成 。昨年度より2.7%増。 高校 肯定率79.7%で 未達成 。昨年度より3.9%減。	授業規律についての基本的な考え方を、さらに広い場面(職員会議など)を通じて全教職員に徹底する。
	(3) いじめの防止	ア「この学校は、人権侵害や差別を許さない教育、特にいじめの防止にはしっかり取り組んでいる。」の肯定率85%以上(生徒アンケート)	ア 全校朝礼などを通じて、校則を守ることを意味を生徒に伝えるよう努めた。	ア 中学 肯定率91.0%で 達成 。昨年度より3.5%増。 高校 肯定率85.6%で 未達成 。昨年度より1.0%減。	「生活指導部だより」や全校朝礼などを通じて、校則を守ることを意味を生徒に伝える機会をさらに増やす。
			ア 毎学期、いじめアンケートを実施し、いじめの把握に努めた。また、いじめは絶対許さないというクラスの雰囲気づくりや人間関係づくりに努めた。	ア 中学 肯定率86.4%で 達成 。昨年度より4.1%増。 高校 肯定率78.98%で 未達成 。昨年度より1.9%減。	これまでの取り組みを継続しつつ、道徳の時間も利用して、いじめに対する理解を深めさせる(特に中学1年生)。

<p>3 行事・クラブ活動</p>	<p>(1) 行事への積極的な参加</p> <p>(2) クラブ活動への自由な参加</p>	<p>ア「行事は、生徒みんなが楽しく参加できるように行なわれている。」の肯定率 85%以上 (生徒アンケート)</p> <p>ア「クラブ活動は、活動を希望する生徒が楽しく参加できるように行なわれている。」の肯定率 80%以上 (生徒アンケート)</p>	<p>ア 中学体育大会の京セラドームでの実施、夜間歩行での保護者による豚汁炊き出しの復活、林間学校での岩菅山登山の復活などの改善を行った。</p> <p>ア 本校独自の「クラブ活動基準」を守り、できるだけ活動ができるように工夫して取り組んだ。</p>	<p>ア 中学 肯定率 88.9%で達成。昨年度より 5.9%増。 高校 肯定率 80.2%で未達成。昨年度より 0.7%増。</p> <p>ア 中学 肯定率 88.0%で達成。昨年度より 2.2%増。 高校 肯定率 86.7%で達成。昨年度より 1.2%減。</p>	<p>それぞれの行事がただ「やるだけ」に終わらないよう、その行事の意義や獲得目標を明確にし、教員間で共有する。</p> <p>クラブ活動が生徒の負担にならないよう、本校独自の「クラブ活動基準」の徹底を図り、可能な限り活動を保障する。</p>
<p>4 施設・設備</p>	<p>(1) 新設備のフル活用</p>	<p>ア「この学校の施設設備は、学習環境の面でほぼ満足できる。」の肯定率 90%以上 (保護者アンケート)</p> <p>イ「この学校の給食は充実している」の肯定率 60%以上 (中学生アンケート)</p>	<p>ア オンライン英会話のパソコン教室での実施、教室での電子黒板の日常的な利用など、新設備を活用した。</p> <p>イ 年1回、保護者対象の給食体験会を実施した。また、生徒や保護者の意見をよく聞き、給食業者とも相談して改善を図った。</p>	<p>ア 中学 肯定率 92.6%で達成。昨年度より 1.0%増。 高校 肯定率 91.8%で達成。昨年度より 2.0%減。</p> <p>イ 中学 肯定率 58.3%で未達成。昨年度より 4.5%減。</p>	<p>校内Wi-Fiやタブレットの利用を促す。また、オンラインでの双方向授業が可能な環境を整備する。</p> <p>家庭科の時間で学校給食の意義について生徒に理解を促す取り組みを復活させる。また、毎月 Classi で生徒に対してアンケートを実施し、その結果をフィードバックする。</p>